

Title	福澤諭吉の書物問屋組合加入に関する資料
Sub Title	
Author	會田, 倉吉(Aida, Kurakichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1959
Jtitle	史学 Vol.32, No.3 (1959. 11) ,p.146(390)- 146(390)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	余白録
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19591100-0146">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19591100-0146</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

福澤諭吉の書物問屋組合加入に關する資料

福澤諭吉が明治二年「福澤屋諭吉」の名で本屋仲間に加した事實については、石河幹明著「福澤諭吉傳」第二卷に詳しいし筆者もかつてそれを一小文にしたためたことがある(「相互經濟」第六卷第一號、「福澤屋諭吉」)。

そして、右の福澤傳によると、「書物屋假組連名帳」なる組合の臺帳の明治二年十二月三日と同五年八月二日の項に、それぞれこれについての記載のあることが知られるが、その明治五年の分に關する資料がまたこんど見つかった。東京都の都政史料館に保管されている「明治五年諸願伺綴込」のなかにある「第三十四號 書物問屋行事共より三田貳丁目福澤諭吉同渡世新規加入爲致度願」がそれで、同館主事木村莊五氏の御教示を得て寫しとることが出来たので、ここに全文を紹介しよう。

明治五年といえは慶應義塾が新たに出版局を組織したときであるから、福澤傳にも述べられているように、福澤はこのときさらに改めて書物問屋組合に加入したものと思われる。

常務掛

書物問屋行事共ヨリ三田二丁目福澤諭吉同渡世江新規加入爲致度旨願出尤同渡世中故障も無之趣申居候間願之通り御許可相成可然哉ニ存候依而此段奉伺候也

壬申七月

上

書物問屋行事

乍恐以書附奉願上候

一 書物問屋行事奉申上候三田貳丁目福澤諭吉今般書物問屋江新規加入渡世仕度旨申出候ニ付身元相糺候處慥成者ニ付問屋加入仰付被下置候様奉願上候勿論仲間一同差障之義無之候間何卒

御役所御帳面へ御書加へ被成下置候様此段奉願上候己上

書物問屋行事

明治五申八月二日

淺倉久兵衛

第二大區小九ノ區

三田貳丁目十三番地

願人 福澤諭吉

東京

御府

上

書物問屋行事

以書付御請奉申上候

第二大區小九ノ區三田貳丁目十三番地主

福澤 諭吉

右之者今般書物問屋加入之儀願上候處願之通被仰付難在奉存

候依て御請奉申上候

明治五申年八月四日

以上

書物問屋行事

淺倉久兵衛

同

大溪平兵衛

東京

御府

(三四、一〇、二八、會田倉吉)